



2階の貴賓室



市立博物館 7月4日(土) リニューアルオープン

敦賀市立博物館は、近代敦賀の発展に大きな業績を残した二代大和田莊七が建設した、旧大和田銀行本店建物を活用した博物館です。

建物は、大正14年に着工、昭和2年に竣工しました。屋内は大理石がふんだんに使用され、北陸で最初のエレベーターも設置。1階と地下の金庫部分に銀行機能を集約し、2階は内外要人を接待する迎賓館機能を持つ社交場として活用されました。また、3階は舞台設備を備えた公会堂、地階には当時レストランがあり市民に開放されていました。堅牢な外観に象徴されるように、本来ならセキュリティに厳格であるべき銀行でありながら、市民に拓かれた公共性を持つという、相反する構造・用途を持つ建築物です。

大和田銀行は昭和20年7月、国策により三和銀行と合併、昭和37年に福井銀行港支店に引き継がれ、昭和52年、同支店の移転に伴い敦賀市に寄贈されました。市ではこれを文化財として保存するため、大きな改変を加えることなく建物を改修し、翌年より敦賀市立歴史民俗資料館として、平成5年からは敦賀市立博物館として活用してきました。平成22年には、県指定文化財となっています。

しかし、竣工後80年以上の時を経て、随所に傷みが出てきたため、平成24年11月から、国の重要文化財登録を目指し、3年に及ぶ修復工事を行いました。今年1月末に修復工事も完了し、ケース設置等の準備も終え、いよいよ博物館が7月4日(土)にリニューアルオープンします。

新しくなった博物館は、敦賀の豊かな歴史文化に対する興味関心にお応えしながら、人びとが集って交流できる施設を目指しています。

《行事予定》

〔リニューアルオープン〕

とき 7月4日(土)

▼記念式典 9時5

▼通常開館 10時5

(4日・5日は入館料無料)

〔オープン記念歴史講座

吉継力フェ(要受講料)〕

とき 7月11日(土)

〔晴明の朝市(入館料無料)〕

とき 7月19日(日)

〔夜間特別開館〕

とき 7月25日(土)／26日(日)

《利用案内》

▼開館時間

10時から17時まで

▼休館日

毎週月曜日(休日にあたる場合はその翌日) 休日の翌日・年末年始

▼入館料

一般300円(250円)

／高校生以下は無料

()内は20人以上の団体料金

▼問合せ先

市立博物館 ☎25・7033

twitter (ツイッター)

Facebook (フェイスブック)

もしています!



3 避難

あなたのお住まいはどこですか?

平地にお住まいの方

▼平たん地などは冠水への備え

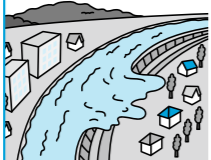
上流付近で土砂災害発生

▼川が氾濫するおそれ

▼思いもよらぬところから浸水

▼地下埋設の管から上水や下水

▼水が溢れ出す



土砂災害の余波

造成地・扇状地・山岳地帯外の平たん地・河川敷にお住まいの方も、土砂災害の被害を間接的に受ける事がありますので「土砂災害警戒情報」などの気象情報に注目してください。

土砂災害から身を守るために

さまざまな破壊力を持つ土石流など一瞬にして大切なものを奪う恐ろしい土砂災害から身を守るためのポイントの紹介です!

1 予防

住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」かどうかを土砂災害ハザードマップで確認しましょう。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つの種類があります。近所の土砂災害危険箇所がどのタイプであるか確認しておきましょう。

〔かけ崩れ〕

大雨や長雨により地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象

〔土石流〕

長雨や集中豪雨などにより、土砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象

〔地すべり〕

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力により持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きたす現象

市ホームページから確認できます。
http://www.city.tsuruga.lg.jp/

2 警戒

雨が降り出したら「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。

※テレビやラジオ、インターネット、トンボメールなどで情報を入力することができます。